

南信州広域連合第8回広域連合会議 結果報告

日時：令和3年11月15日(月) 15:10~16:00

場所：南信消費生活センター 大会議室

【出席者】14市町村長、副管理者

〔JR東海中央新幹線長野工事事務所〕平永所長
〔長野県リニア整備推進局〕斎藤局長
〔南信州地域振興局〕丹羽局長
〔飯田建設事務所〕細川所長
〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長
〔下伊那郡町村会〕岡庭事務局長
〔飯田広域消防〕有賀消防長・下平次長兼警防課長・松下総務課長
〔環境センター〕飯田事務長
〔事務局〕吉川事務局長・加藤事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長
野牧広域振興係長・伊藤庶務係長・松澤庶務係主事

1 開会…15:10

2 広域連合長あいさつ

本日の会議には、JR東海中央新幹線長野工事事務所長と長野県リニア整備推進局長にも同席いただいている。これは、先般、豊丘村神稲の中央新幹線伊那山地トンネル（坂島工区）新設工事で発生した事故において、私ども市町村長への連絡が遅れたこと等に対し申し入れをさせていただき、先程の内部会議で報告を受けたわけですが、住民の皆様に対しても多くの場で報告しなければならないのではということで、マスコミの皆様を通じてではあるが、改めて事故報告と連絡体制が構築されたことに対してご説明をいただきたいと思う。

3 中央新幹線伊那山地トンネル（坂島工区）新設工事事故報告

【JR東海中央新幹線長野工事事務所長】

10月末に岐阜県中津川市で発生した労働災害直後に、今回の坂島工区での肌落ちによる労働災害を発生させてしまったことに対し、関係市町村の方だけでなく、地域の皆様にもご心配とご迷惑をお掛けしてしまいました。大変申し訳ございませんでした。

事故の概況については、現在のところ、事故原因と対策については調査中であり、坂島工区については作業を休工している。大鹿村の2工区、豊丘村の1工区については、施工業者に対する肌落ち事故防止ガイドラインの徹底をした上で、新たにJR東海社員が一連の作業の立会に入ることで工事を継続している。

また、今回の事故発生後に関係市町村の皆様への連絡が遅れてしまったことに対しても深く反省をしており、改めてお詫びを申し上げたいと思っている。大変申し訳ございませんでした。

今後は新たな連絡体制に基づき、関係市町村の皆様へできるだけ早急に連絡するように取組んでいく。

私どもの事業については、地域の皆様のご協力があって初めて前へ進める事業だと思っている。今後、安全を最優先に工事を進め、一から信頼回復に努めていきたいと思う。

引続きご指導、ご理解を賜りますようよろしくお願い致します。

【長野県リニア整備推進局長】

今回の事故及びその対応について、県としてもJR東海と話し合いをする中で助言をし、再発防止に向けて話をまとめてきた。特に県と関係市町村との協議の上での体制づくりをお願いしてきたが、新たな連

絡体制の下、迅速な対応ができると思っている。

こうしたことの積み重ねをしっかりとすることで、市町村や地域の皆様からのリニア整備に対する信頼も高まり、今後整備が推進されていくことが大事だと感じている。

【連合長】

今回の事故の発生について大変遺憾に思うとともに、今後は安全な工事の施行に努めていただきたいと強く感じている。また、事故の発生後に関係市町村等への連絡が遅れたことについて、10月末の隣県での事故発生後に非常時の連絡体制について申し入れをしたばかりにも関わらず、迅速な対応がなされなかったことに対しても非常に遺憾であった。

今後はこの新たな体制に基づき早期に情報をお伝えいただきたい。そして改めて、住民の皆さまへ対し、リニア工事全体の信頼が回復されるようにしっかり取り組んでいっていただきたい。

4 協議・報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

【飯田保健福祉事務所長】 ～資料No. 1～

- ・7月～9月にかけての当圏域及び県内の第5波の感染状況からワクチンの有効性を概算してみると、ワクチンの感染阻止率は90%～92%程度。引続きワクチン接種率の向上を目指すとともに、感染防止対策に努めることで、今後クラスター発生を抑えることができると思う。

【地域医療福祉連携課長】 ～資料No. 1-2～

- ・集団接種会場（事務センター）での市町村別接種件数実績（5月～10月）について、約98%が飯田市の住民である。
- ・10月末までは、阿南町、平谷村、売木村、天龍村、泰阜村、大鹿村の住民の接種者はいなかった。

(主な意見等)

下條村：統計からワクチンの感染阻止率が非常に高いことが分かったが、最近ヨーロッパにおいて、感染力が高まっているとの話を聞く。このような状況についてなにか情報があればご教授いただきたい。

飯田保健事務所長：ヨーロッパの方が日本よりも2～3か月早くワクチン接種を開始しているので、今後、日本もそのような状況になる可能性はある。そうしたことから3回目のワクチン接種が計画されているところでもあるが、実際に感染が高まっている地域を見ると、そもそもワクチン接種率が低い地域で高まっている傾向に感じる。そのため、日本で同じように感染が高まっていくかというとその限りではないと感じる。

副連合長：3回目のワクチン接種が計画されている中で、副反応についてご心配されている方々も多いと思う。ワクチンの種類ごとの効果や副反応等の検証が大事であると思うし、今後は国内産のワクチンも出回っていくこともあると思うので、アンテナを高く張りながら情報を精査していきたい。

連合長：3回目のワクチン接種も含めて感染予防が大事だと思うし、併せて地域経済の活性化も図っていかねばならない。当面落ち着いた感染状況が推測される中で、できることをしていかなければならないと思う。

(2) 令和3年南信州広域連合議会第2回定例会について 【事務局次長】 ～資料No. 2～

ア 開催日

令和3年11月30日（火）午前10時 議場：エス・バード

イ 付議事件

7件 （予算案件1件、決算案件4件、議会提出案件2件）

ウ 付議する案件の内容

- ・令和3年度南信州広域連合一般会計補正予算（第2号）案 補正額 33,047千円

- ・令和2年度南信州広域連合各会計歳入歳出決算認定について（一般会計+3特別会計）
- ・南信州広域連合議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について（議会提出）
常任委員会の設置に関する条項を追加
- ・南信州広域連合議会会議規則の一部を改正する規則の制定について（議会提出）
常任委員会設置に伴う関係条項の改正
その他字句、規定の不備等の修正

→ 質疑等なし

(3) 令和4年度予算編成方針（案）について 【事務局長】 ～資料No.3～

ア 基本的な考え方について

- ・広域連合が行う事務事業は、構成市町村の財源負担の上に成り立っている。構成市町村にあっては歳入確保が厳しい中で義務的経費が増加していることに加え、新型コロナ対策や災害復旧への対応等、困難な財政運営に直面していることを認識し、選択と集中の観点から事業の優先度を見極め重点化を図る。
- ・後期基本計画（令和2年度～6年度）の5年間の施策展開を見据え、行政評価で示された意見（一次評価及び広域連合議会の二次評価）を踏まえて、令和4年度 of 取組みを検討し予算計上する。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大への対応に起因する社会、経済環境の大きな変化を踏まえ、ウィズコロナとアフターコロナの視点から事務事業を見直す。コロナ対策として実施したのも、元に戻すか継続するか慎重に整理する。
- ・行財政改革の観点から、事業費の精査を徹底するとともに、多様な方策を駆使して財源確保に努める。

イ リニア時代を見据えた地域づくりの取組みについて

基本構想に掲げる将来像の実現をめざし、後期基本計画に計上している各事業について、ウィズコロナ、アフターコロナの視点から今後の方向性と具体的な展開を再検討し、予算に反映させる。

- ・多地域居住の推進による地域づくり
景観形成プロジェクト事業
南信州移住促進プロジェクト事業
地域公共交通事業
- ・芸術・文化、教育を活かした地域づくり
民俗芸能保存継承プロジェクト事業
南信州地域の高校の将来像の検討
- ・スポーツと保健・健康の促進に着目した地域づくり
在宅医療・介護連携推進事業
飯田下伊那診療情報連携システム運営事業
看護師等確保対策修学資金貸与事業
- ・新たな産業の振興や誘致による地域づくり
産業振興と人材育成の拠点整備事業
広域観光リニアプロジェクト推進事業
マーケティングの視点による持続可能な地域づくりプロジェクト事業
- ・新たな機能の創出による地域づくり
アリーナ機能を中心とする複合施設整備検討事業

ICT環境整備利活用研究プロジェクト事業

ウ 各会計における課題について（前記イ以外）

一般会計

- ・ごみ減量化キャンペーンの取組みを継続するとともに、可燃ごみ削減策を検討し、稲葉クリーンセンターの負荷を軽減し、長期にわたる安心安全な運転管理に努める。
- ・介護認定審査、特別養護老人ホーム等の入所判定、障がい者相談支援等の共同事務を公平適正に処理する。
- ・事務センターの使用状況を見通し、適切な管理に努める。

南信州広域振興基金特別会計

- ・基金運用収入の減額に伴う新たな財源確保と事業内容の精査。

飯田広域消防特別会計

- ・地域住民の安心安全な暮らしを確保するため、生命と財産を守る消防救急業務を着実に推進する。
- ・将来の消防力の適正配置と署所の整備に関する方面別の検討を進めるとともに、高森消防署移転改築の設計等を進める。

稲葉クリーンセンター特別会計

- ・安定した売電収入の確保と発電設備の適切なメンテナンス。

→ 質疑等なし

(3) 特別養護老人ホーム「あさぎりの郷」の施設譲渡・経営移管後の入所調整について ～資料No. 4～

* 高森町長から

平成19年4月に南信州広域連合から高森町へ譲渡されたもの。起債の償還も終わり、町についても施設を今後どのようにしていくかということを検討してきたが、現在、経営を依頼している社会福祉法人ジェイエー長野会へ施設全てを譲渡させていただき、そのまま経営を継続していただく形をとらせていただきたい。

なお、経営移管後の入所調整については、南信州広域連合による「広域による入所調整」を継続する方針。広域連合の位置づけは、「公設」から「法人」扱いに変更する。

* 地域医療福祉連携課長から

広域連合としても、入所調整についての方針を承諾することとしたい。詳細内容については、広域連合とジェイエー長野会との間に覚書として取り交わし、将来に渡って相互に確認できるよう進めていく。

→ 質疑等なし

(4) 障害者支援施設阿南学園の移転改築について 【事務局長】 ～資料No. 5～

ア 新施設概要

- ・所在 阿南町北條726番地ほか 敷地面積：7,408.99㎡（駐車場敷地含む）
- ・施設 鉄骨造1F 延床面積：2,543.54㎡ 定員60人
- ・設置者 阿南町
- ・運営 「社会福祉法人 ひだまりの郷あなん」による指定管理を予定
- ・事業費 958,538千円（予算はH30からR3まで）
- ・財源内訳 地方債931,200千円（過疎債509,000千円 施設整備事業債422,200千円）
一般財源27,338千円

イ 竣工式概要

- ・開催日 令和3年12月11日(土) 午前10:00～(受付開始9:20～、正午解散予定)
- ・概要 新施設正面玄関でテープカット、くす玉割り、式典、施設見学後に解散

→ 質疑等なし

(4) 飯田広域消防本部から 【消防次長兼警防課長】 ～資料No.6～

- ・火災発生件数について(11月8日現在)
 - 62件(前年同日比 +2件)
- ・たき火火災発生件数
 - 23件(前年同日比 △6件)
- ・11月9日～11月15日まで秋の火災予防運動を実施
- ・冬期に向けてヒートショック予防についての広報(チラシ配布等)
- ・熱中症疑いによる救急搬送おける検証と今後の取組みについて

◇検証

搬送者の減少

例年、梅雨明け(7/16:第4半旬)とともに最高気温が35℃に迫る、もしくは35℃を超えると搬送者が一気に増加する傾向があるが、今年は、梅雨明け時に一気に搬送者数が増加したが、その後徐々に搬送者数が減少した。これは、新型コロナウイルス感染症拡大(第5波)による催し物等の中止及びオリンピック開催期間が重なり外出機会が減ったことにより、熱中症警戒アラートが出されていた8月第1、2半旬に搬送者が減少していた。その後、例年気温上昇がみられる8月の第3半旬から第4半旬に掛けて悪天候が続いたことも昨年比として大幅に搬送者数が減少した要因と考えられる。

また、昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新しい生活様式の中で一人ひとりが自身の健康管理に留意したこと、また、熱中症警戒アラートや高温注意情報の発表時に市町村の同報等を用いた注意喚起を実施していただいたことが、前年より更に減少に至った一因であると思われる。

軽症、中等症の減少

今年は、昨年(91人)に比べ67人(-24人)と大きく減少した。また、搬送された傷病者は、軽症、中等症のみであり、重症者は0人であった。しかし、搬送者を年齢別で見ると、高齢者が49人で全体の7割を占めている。また、発生場所で見ると、依然として屋内で多く発生している。

◇今後の取組

検証の結果から、来年も今年に引き続き以下の3点を重点的に取り組む。

強化時期

梅雨明けの前に、熱中症予防の啓発(広報)について、更に強化する。

効果的な広報

既に取り組んでいた市町村もあるが、気象庁からの高温注意情報の発表に伴い、各市町村へ同報等を用いた注意喚起の広報を依頼する等、多方面の協力を得て実施する。

高齢者への広報

高齢者(65歳以上)が搬送人員の全体の約66%に上り、特に住宅や屋内での発症が多いことから、各市町村の福祉課や長寿支援課等と連携した高齢者宅への広報や、通所施設等の協力を得て、通所しない日の自宅での過ごし方の予防広報も取り組んでいく。

→ 質疑等なし

(7) 南信州いいむす21登録判定について 【事務局広域振興係長】 ～資料No.7～ 新規1件、更新1件

【南信州広域タクシー有限会社 (97pt ★×10)】

評価のポイント

- ・2008年より交通エコロジー・モビリティ財団の「グリーン経営」を取得され、レベルの高い環境管理の仕組みが構築されている。
- ・事業所経営層の環境に対する意識が高く、構築・運用されている仕組みは有効に機能している。
- ・特に教育の取り組みは、他の事業所の模範となる良い運用がされている。

【南信州広域連合事務局総務課 (97pt ★×10)】

評価のポイント

- ・広域連合の構成自治体へ南信州いむす21の取り組みの輪を広げる取り組みを積極的に行っており、新規登録に繋げている。
- ・取組目標として「AKF(公文書管理手法)を用いた文書管理の実施」を掲げ、本来の事業活動の課題であった文書管理の課題を解決するとともに、紙資源の適正利用や事業効率化による超時間勤務の削減など環境負荷低減活動に繋げている。
- ・エコアクション21やSDGsに関する研修を積極的に受講し、環境や他のマネジメントシステムに関する研鑽を重ねている。

→ 異議なし。承認となる。

(8) その他 【事務局長】

*南信州環境メッセ2021について

各構成市町村に組合回覧もしていますが、チラシが完成したので配布をしている。家族で楽しめるイベントとなっていますので、是非、お声掛けいただきご来場いただけたらと思う。

5 長野県から

*南信州地域振興局

先月末の移動知事室において、拡大版地域戦略会議にご協力いただき感謝します。今後、拡大版地域戦略会議でいただいた意見等については整理をさせていただいた上で、担当を決め、検討をしていきますのでご承知ください。

6 当面の日程について

令和3年11月30日(火)	南信州広域連合議会第2回定例会
令和3年12月16日(木)	南信州広域連合会議

7 その他

特になし

8 閉会…16:00